



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

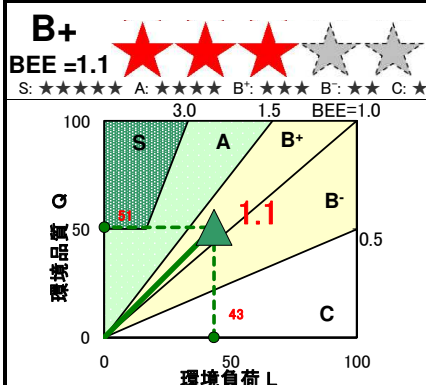
1-1 建物概要

建物名称	古市住宅1号館
建設地	城東区関目2丁目
建築用途	共同住宅
建築主	大阪市長
設計者	大阪市都市整備局
敷地面積	12,439.34 m ²
建築面積	1,979.50 m ²
延床面積	18,837.51 m ²
構造/階数	RC造 / 地上14階
完了年(予定)	2028年7月

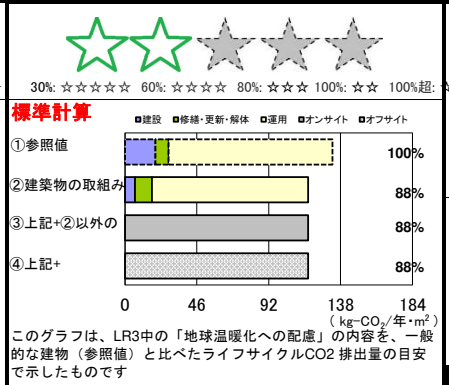
1-2 外観



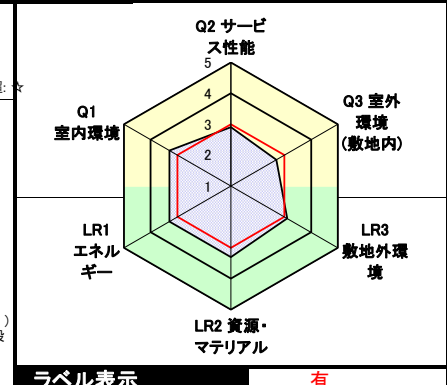
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

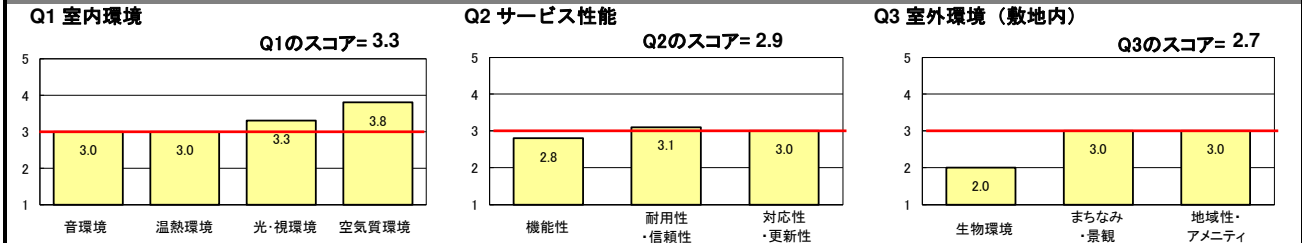


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

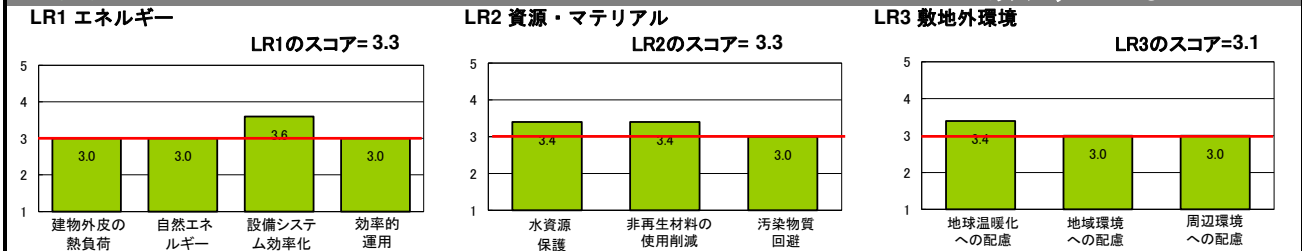


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合 本件住宅については、室内環境の向上を目指しシックハウス対策として、F☆☆4の材料を使用している。また、建物の長寿命化に取組んでおり、廃棄物の抑制を目指している。さらに、グリーン調達推進により、再生利用材料の使用に努めている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。開口部を大きく設け、昼光率を確保するように計画している。	Q2 サービス性能 住宅の品質確保の促進に関する法律(日本住宅性能表示基準、3.劣化の軽減に関する事)における木造、鉄骨又はコンクリートの評価方法基準(平成26年国土交通省告示第151号)で等級3相当である。また空調及び給排水配管の耐用年数の長寿命化に配慮し、主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは使用していない。	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部・塀等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 自閉式水栓、節水型便器を採用する事で居住者の節水・省エネ対策に配慮している。非再生性資源の使用量削減に努め、躯体材料以外において、リサイクル資材を3品目以上使用している。	LR3 敷地外環境 特になし。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	3.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.4
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 3.0
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.6
配慮事項	特になし。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能 住宅部分(品確法等級) 等級3 (相当) 非住宅部分[BPI][BPI_m] -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEI_m] 0.94 住宅部分[BEI] 0.94 非住宅部分[BEI][BEI_m] -